

■草津市自殺対策推進会議 報告■

開催日時：平成30年2月15日(木)13:30～15:30

会場：草津市立アミカホール 2階 研修室

出席委員：まちづくり協議会連合会、草津市社会福祉協議会、草津市民生委員児童委員協議会、滋賀県司法書士会、滋賀いのちの電話、草津栗東医師会、草津警察署、市民委員、草津保健所

欠席委員：草津商工会議所、ハローワーク草津、滋賀県自死遺族の会風の会おうみ、草津総合病院

◆報告事項◆

〈報告内容の概要〉

- ・ 草津市自殺対策行動計画に基づき、基本施策ごとに、今年度の市の取り組みをまとめて報告し、課題と考えていること、今後の方向性について報告
- ・ 若者の自殺が減っておらず、若年者への対策が必要である。
- ・ 自殺や精神疾患への理解をすすめるため、啓発事業の継続、拡大を予定している。
- ・ 関係機関の連携によるゲートキーパー養成研修会の開催ができた。今後も継続して実施していく。
- ・ 支援者のスキルアップによる支援の充実と支援者の負担の軽減のため、研修会の実施とともに、アドバイザーによる多機関の支援者への支援を行う。
- ・ 学校では、校内の相談支援の体制づくりや、学校外の機関との連携体制ができ始めている。
- ・ インターネットや SNS を利用した相談など、相談しやすい環境づくりについて、検討する必要がある。

〈主な意見等〉

- ・ 男性の自殺は、経済状況などの社会背景が大きく影響しており、景気の回復とともに減少している。女性の自殺に、自殺対策の本質があるように感じる。
- ・ 子どもの自殺が報道されるたびに心を痛めている。学校では面談で子どもたちの話を聴くだけではなく、日常の他愛もない話の中で子どもたちの悩みや思いを聴いていくことが大切ではないか。
- ・ 自殺未遂を繰り返す人は実際に自殺しない、という思い込みは間違いである。リスクが高いということを皆が知ってほしいし、自殺未遂者への支援はますます力を入れるべきである。
- ・ 家族全体が問題を抱えていることが多いことは十分理解できる。それぞれの困りごとに支援が必要である。
- ・ 「子どもの学習支援」では、子どもたちが良い方向に変化していくのを目の当たりにしており、とても良い取り組みである。現在は市内1か所だけであり、拡充していけたら良い。

- ・ 9月に開催された市民等対象ゲートキーパー講座は、とても分かりやすかった。ぜひこの講師の話を多くの市民に聴いてほしいと思う。世界中で、ゲートキーパーの養成は、最も大切な取り組みだと言われているため、進めて欲しい。
- ・ 職員等対象のゲートキーパー研修会では、現在初級編、ステップアップ編と構成されているが、現に危機的な状況にある人を支援している人向けのもがあると良いと感じている。
- ・ インターネットや SNS を活用した相談については、国レベルで検討が重ねられている。対応するための人員や時間が多く必要であることや、インターネット上でのチェック機能がきちんと働かないと犯罪に巻き込まれる危険があることなど、難しい点は多々あるが、若者の孤独への対策として、若者の使いやすい方法での相談というかたちを考えないといけない。
- ・ 自死遺族は自殺のハイリスク者である。自死遺族支援として、現在県内では凧の会（近江八幡）1か所で分かち合いを行っているが、凧の会以外にも近いところできるとなれば、参加しやすい遺族もいるのではないかと。

〈その他報告事項〉

- ・ （仮称）第2次草津市自殺対策行動計画の策定について

【策定スケジュール】

| | 関係課会議 | 自殺対策推進会議 | |
|--------|--------|----------|-----------------------------------|
| H30.4月 | | | |
| 5月 | ●第1回会議 | | ・現計画進捗状況、評価、 課題共有 ・計画骨子案の協議 |
| 6月 | | ●第1回会議 | |
| 7月 | ●第2回会議 | | ・計画案の協議 |
| 8月 | | ●第2回会議 | |
| 9月 | | | |
| 10月 | ●第3回会議 | | |
| 11月 | | ●第3回会議 | |
| 12月 | | | |
| H31.1月 | ●第4回会議 | | ・パブリックコメント結果について ・計画案の確定 |
| 2月 | | ●第4回会議 | |
| 3月 | | ●市長への答申 | |

〈今後の予定〉

- ・ 草津市ゲートキーパー講座（市民等対象ゲートキーパー養成研修会）
「どうしたらいい？子ども・若者のSOSを感じたら」
平成30年3月1日（木）15時～17時 市役所8階大会議室にて
講師：県立精神保健福祉センター所長 辻本哲士 医師